

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動療育センターhibikids			
○保護者評価実施期間	2025年11月4日 ~ 2025年11月17日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025年11月10日 ~ 2025年11月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月15日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門職を配置しており、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、教員、幼稚園経論が在籍) 多職種で意見を出し合っています。	・研修と育成を、全職員向け・職種向け・役職向け、と分けて実施しております。	・エビデンスベースのたしかな支援ができるよう、全職員児童発達支援管理責任者資格、感覚統合やPECS、その他療育に必要な資格を会社負担での取得を目指していきます。
2	・一回の療育で個別レッスン・小集団レッスンの両方を提供しております。	・全職員ストレングスファインダー（生まれ持つての資質の検査）を実施しており、職員間で強み・弱みを共有し、強みに専念できるチーム作りに努めています。	・三方良し（企業・顧客・社会）となるよう意見を挙げ、行動し組織運営していきます。 ・組織効力感（自分の強みはこれで、これに専念すれば組織のためになると感じられる）を高められるチーム作りを行います。
3	・送迎を実施しており、保護者様の負担軽減を図っております。	・LINEを通して保護者様と気軽に交流を図り、お悩み事や相談にのれる環境を提供しています。	・個別レッスン、小集団レッスン、LINEや保護者様対応の職員の色が職種や人柄で出ることはよいのですが、hibikids職員として一定の質が保たれるよう人事考課・研修・育成にて努めています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・昼食提供がないです。	・療育の専門性の発揮、送迎の提供に専念しているため、園・保護者様の後方支援に集中しています。	・例えば食事に関してのお悩み、食べ方・姿勢・箸・集中などは、保護者様・園と情報共有し、LINEでのやりとりや動画提供などをいただきながら分析・方法の提案を行っています。また、個別レッスン時に対応していきます。
2	・送迎をすることで保護者様の負担軽減にはなるが、面と向かってコミュニケーションをとる機会が少ないです。	・LINEと送迎サービスは保護者様に好評なので、継続し、さらに保護者様との顔の見える関係づくりが必要だと思います。	・保護者様がお話や相談しやすい雰囲気づくりをより行っています。対面・電話対応も調整して対応しております。
3	・スタッフは多職種で専門性があり、スタッフ間での話し合い時の合意形成に時間がかかることがあります。	・強みでも述べましたが、専門性の発揮もですがhibikids職員として一定水準を満たしたうえで専門性を発揮しやすい環境づくりをしている途中です。	・育成・研修・人事考課にて、hibikids職員として一定水準を達成できるよう努めます。その上で専門性を発揮できるように、専門性に固執しない・させないように、組織効力感を意識して組織作りしていきます。